



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社
コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 川島 久男

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	602	1.1	172	△12.4	172	△13.0	118	△5.9
26年3月期第2四半期	595	—	196	—	198	—	125	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.00	34.28
26年3月期第2四半期	45.33	—

(注)1. 当社は第2四半期の業績開示を平成26年3月期より行っているため、平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりませ

- ん。
2. 当社は平成25年9月15日付で普通株式1株につき、1,000株の株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 平成26年3月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権残高はありましたが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんでしたので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,442	—	2,022	—	—	82.8
26年3月期	2,355	—	1,953	—	—	82.9

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 2,022百万円 26年3月期 1,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成27年3月期における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,325	13.1	417	1.3	418	5.3	250	△1.7	76.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	3,287,100 株	26年3月期	3,287,100 株
27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
27年3月期2Q	3,287,100 株	26年3月期2Q	2,775,847 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減から個人消費の回復が進まず、企業収益や雇用環境に改善が見られたものの景気回復への足どりは鈍いまま推移しました。

当社の属する情報システム分野においては、日銀短観や内閣府月例経済報告によりますとソフトウェア投資は前年同期比では緩やかに増加しておりますが、当社の主力顧客先である金融機関のソフトウェア投資については、これまで牽引してきた銀行業のシステム統合による需要に一服感がみられます。

このような状況のもと、当社は製品開発面では、既存製品のクラウド化にむけた開発を進め、日本電気株式会社様とセキュリティ分野で協業し、「NEC Cloud IaaS」のID&アクセス管理サービスとして本年12月から提供を開始します。また、その他の既存製品の競争力強化に向けた開発と拡張に取り組みました。

営業施策面では、金融業界への深耕策として地銀・信金等の新規開拓を進めているほか金融以外への業種への取組や新規代理店との協業を進めました。また教育産業における大規模情報漏洩事故を受けて、個人情報や機密情報を保有する企業からの問い合わせが急増しました。この為、システムの運用管理に関する緊急セミナーを3回に亘って開催いたしましたほか、引き続き個別企業からの問い合わせや引き合いに対応いたしております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は602,002千円(前年同期比1.1%増)となりました。ライセンス売上は、主力製品の「ESS REC」は前年同期比15.1%の伸びとなりましたが、その他「ESS SmartIT Operation (略称SIO)」(注)製品のコンサルティングサービスを伴うクロスセルで、企業のシステム全般の見直しやシステム投資計画の再検討の影響を受けて遅延したことによりライセンス全体では、前年同期比12.6%の減少となり、コンサルティングサービス売上も同5.6%減少いたしました。保守サポートサービス売上は、ストック型売上でライセンス売上が上積みされるため前年同期比12.4%の増加となりました。営業利益は、人員増による固定費や研究開発費、株式公開後初の株主総会費用等の一般管理費の増加により前年同期比12.4%減少の172,119千円となりました。経常利益は172,347千円(前年同期比13.0%減)、四半期純利益は118,347千円(前年同期比5.9%減)となりました。

(注) システムの変化や形態に影響されず、様々なオペレーション・システム(OS)が混在する環境であっても、一貫性のある運用管理、運用統制が実現できるパッケージソフトウェア技術の在り方を定義した技術戦略です。

当社のシステム運用管理ソフトウェアは、基本的にこの戦略に基づいて開発しております。

当第2四半期累計期間における区分別販売実績

区分の名称	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
ライセンス (千円)	255,545	223,347
うちESS REC (REC) (千円)	146,618	168,808
うちその他ライセンス (千円)	108,927	54,539
保守サポートサービス (千円)	245,660	276,090
コンサルティングサービス (千円)	40,743	38,462
SIO常駐サービス (千円)	35,627	32,638
その他 (千円)	17,760	31,462
合計 (千円)	595,337	602,002

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ86,683千円増加し、2,442,656千円(前事業年度末比3.7%増)となりました。主な増減科目は、現金及び預金の増加189,249千円、売掛金の増加10,926千円、ソフトウェアの減少18,601千円、投資その他資産の減少100,000千円であります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ17,642千円増加し、419,867千円(前事業年度末比4.4%増)となりました。主な増減科目は、未払法人税等の減少41,248千円、前受金の増加51,196千円であります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ69,040千円増加し、2,022,789千円(前事業年度末比3.5%増)となりました。主な増減科目は、配当金49,306千円の支払、当四半期純利益の計上118,347千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ89,249千円増加し、1,478,824千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は171,075千円(前年同期は164,173千円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益172,347千円、減価償却費の増加44,653千円、前受金の増加額51,196千円、支出は法人税等の支払95,604千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は32,519千円(前年同期は221,321千円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出5,249千円、無形固定資産の取得による支出27,270千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は49,306千円(前年同期は6,075千円の獲得)となりました。これは配当金の支払49,306千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月1日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,889,575	2,078,824
売掛金	135,754	146,681
その他	22,724	25,868
流動資産合計	2,048,054	2,251,374
固定資産		
有形固定資産	44,728	41,914
無形固定資産	84,380	65,779
投資その他の資産	178,808	83,588
固定資産合計	307,918	191,281
資産合計	2,355,973	2,442,656
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,029	11,437
未払法人税等	100,018	58,769
前受金	221,931	273,127
その他	50,888	51,150
流動負債合計	376,867	394,484
固定負債		
資産除去債務	25,357	25,382
固定負債合計	25,357	25,382
負債合計	402,224	419,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,886	489,886
資本剰余金	471,886	471,886
利益剰余金	991,976	1,061,017
株主資本合計	1,953,748	2,022,789
純資産合計	1,953,748	2,022,789
負債純資産合計	2,355,973	2,442,656

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	595,337	602,002
売上原価	151,096	153,669
売上総利益	444,241	448,332
販売費及び一般管理費	247,797	276,213
営業利益	196,444	172,119
営業外収益		
受取利息	154	296
助成金収入	3,656	—
雑収入	25	—
営業外収益合計	3,836	296
営業外費用		
株式公開費用	2,202	—
雑損失	3	68
営業外費用合計	2,206	68
経常利益	198,074	172,347
税引前四半期純利益	198,074	172,347
法人税、住民税及び事業税	78,386	55,825
法人税等調整額	△6,127	△1,825
法人税等合計	72,259	53,999
四半期純利益	125,815	118,347

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	198,074	172,347
減価償却費	38,331	44,653
受取利息及び受取配当金	△154	△296
売上債権の増減額(△は増加)	△58,822	△10,926
仕入債務の増減額(△は減少)	2,269	7,407
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△7,078	3,860
前受金の増減額(△は減少)	57,512	51,196
その他	4,289	△1,899
小計	234,421	266,342
利息及び配当金の受取額	96	337
法人税等の支払額	△70,343	△95,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,173	171,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,812	△5,249
無形固定資産の取得による支出	△18,508	△27,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,321	△32,519
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	35,500	—
配当金の支払額	△29,425	△49,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,075	△49,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,072	89,249
現金及び現金同等物の期首残高	620,661	1,389,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	569,588	1,478,824

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェアの開発販売・保守サポートサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェアの開発販売・保守サポートサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。